

# 保健

センター  
通信

市健康管理課(保健センター)

☎873-2111内線1742~4

## 麻しん風しん混合ワクチンの 予防接種は速やかに 受けましょう！

◆予防接種を受けることは、お子様自身の予防だけでなく、社会全体の感染症予防のためにも大変重要です！

◆法律の改正により、平成18年4月1日から乳幼児に対して麻しん(はしか)・風しんの予防接種がⅠ期・Ⅱ期の2回接種となり、麻しんと風しんの予防を強化しました。



◇麻しん、風しんはどんな病気？

麻しんは、一般に「はしか」と呼ばれ、麻しんウイルスの感染で起こる病気です。感染力が強く、ワクチンを受けていないとかかりやすくなります。2〜3週間の潜伏期間の後、せき、鼻水、目やになどの症状があり38度前後の熱が3〜4日間続きます。そして、一時下がりかけていた熱が39〜40度の高熱の時期になるころに発疹が出てきます。高い熱は3〜4日以下がり、発疹も次第に良くなつてきます。しかし、肺炎・脳炎など

の合併症を起こす場合もあります。

風しんは、風しんウイルスの感染で起こる病気です。2〜3週間の潜伏期のあと、3日間前後の発熱と発疹がみられ、頭や耳の後、首などのリンパ節が腫れますがほとんど自然に回復します。しかし、妊娠中の女性が初めて風しんに感染すると、胎児に影響し、心臓の障害、視力や聴力の障害、知的な発達の障害などの症状を伴った先天性風しん症候群が高い割合で発症します。

### ◇予防接種対象者

第Ⅰ期 1歳から2歳未満に1回  
(1歳の誕生日以降に予防票を郵送します)

第Ⅱ期 平成13年4月2日〜平成14年4月1日生まれの方は小学校就学前の1年間の期間になります。(平成19年4月中旬に対象者全員に郵送しています)

ただし、麻しんあるいは風しんにかかったお子様については、かかっていない方のワクチンのみの接種となりますので、かかりつけ医に相談の上、母子健康手帳をお持ちになり、市健康管理課(市保

健センター)までお越しください。

### ◇接種間隔

麻しん風しん混合ワクチンを接種したときは、接種した日から27日以上あけて、ほかの予防接種をしましょう。

### ◇医療機関受診の際の注意点

- ・市から配られている予防接種の説明書を必ず読みましょう。
- ・必ず母子健康手帳と予防票を持ってお出掛けください。
- ・お子様の体調の良いときに受けましょう。
- ・ウイルス性の病気(突発性発疹、おたふくかぜ、みずぼうそうなど)にかかった場合は、治ってから少なくとも1カ月は様子を見ましょう。
- ・予防票は漏れなく記入しましょう。
- ・予防接種は市内協力医療機関での個別接種となっています。

※詳しくは各世帯に配布している「すこやか」をご覧ください

問い合わせ 市健康管理課 ☎87

3・2111内線1742